

(17) 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約に基づく登録簿に掲載された湿地の指定状況

社会的状況の調査範囲には、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(昭和 55 年条約第 28 号)に基づく登録簿に掲載された湿地の指定はない。

(18) 文化財保護法等に基づく名勝天然記念物の指定状況

社会的状況の調査範囲における文化財保護法又は文化財保護条例に基づく天然記念物の指定状況は、表 2.2.7-25 及び図 2.2.7-8 に示すとおりである。なお、社会的状況の調査範囲において名勝の指定はない。

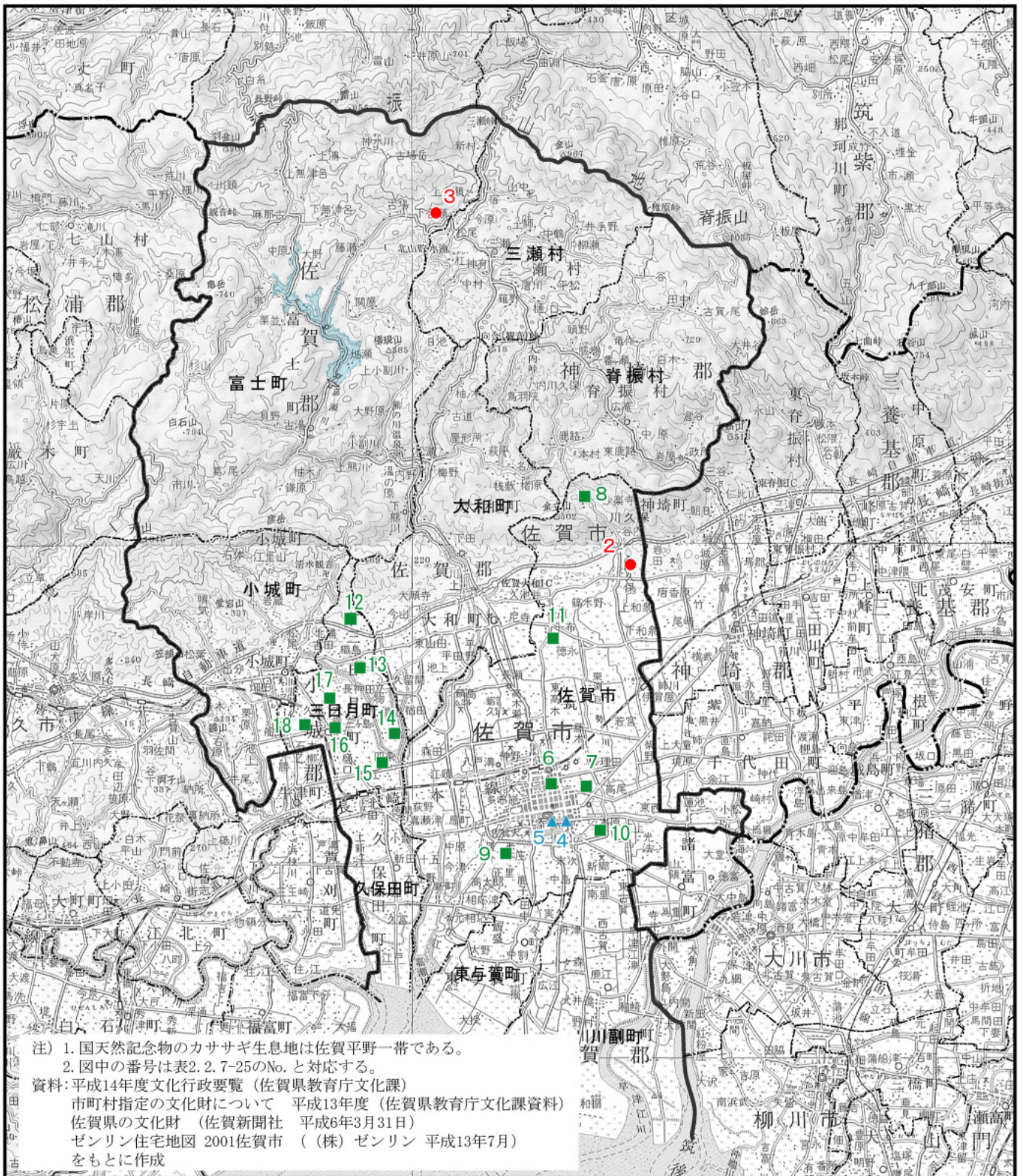
国天然記念物にカササギ生息地(佐賀平野一帯)、エヒメアヤメ自生南限地帯(佐賀市)及び下合瀬の大カツラ(富士町)が指定されている他、県天然記念物に佐嘉城趾の楠(群)(佐賀市)及び与賀神社の楠(佐賀市)が指定されている。また、市町村天然記念物に国相寺の楠(佐賀市)、牛島神社の楠(佐賀市)、大小野の石楠花(佐賀市)、高伝寺の梅(佐賀市)、日枝神社の楠(佐賀市)、浄円寺のイチョウ(佐賀市)、織島神社の楠(三日月町)、勝妙寺の金木犀(三日月町)、淀姫宮の楠(三日月町)、千代雀の楠(三日月町)、天満宮の楠(三日月町)、七星宮の楠(三日月町)及び甲柳原天満宮の楠(三日月町)が指定されている。対象事業実施区域及びその周辺の区域には、天然記念物はない。

表 2.2.7-25 天然記念物の指定状況

	指定区分	名 称	指定年月日	所在地
1	国天然記念物	カササギ生息地	大正12年3月7日	佐賀市、佐賀郡、多久市、小城郡、武雄市、三養基郡、神埼郡、鳥栖市、杵島郡、鹿島市、藤津郡
2		エヒメアヤメ自生南限地帯	大正14年10月8日	佐賀市久保泉町
3		下合瀬の大カツラ	昭和37年5月16日	富士町大字北山
4	県天然記念物	佐嘉城趾の楠(群)	昭和28年11月3日	佐賀市城内
5		与賀神社の楠	昭和40年7月23日	佐賀市与賀町
6	市町村天然記念物	国相寺の楠	昭和44年2月11日	佐賀市愛敬町
7		牛島神社の楠	昭和53年3月1日	佐賀市佐賀町
8		大小野の石楠花	昭和54年3月1日	佐賀市金立町
9		高伝寺の梅	昭和55年3月1日	佐賀市本庄町
10		日枝神社の楠	昭和58年3月1日	佐賀市北川副町
11		浄円寺のイチョウ	平成6年3月22日	佐賀市金立町
12		織島神社の楠	昭和54年6月2日	三日月町大字織島
13		勝妙寺の金木犀	昭和54年6月2日	三日月町大字織島
14		淀姫宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町大字堀江
15		千代雀の楠	昭和54年6月2日	三日月町大字堀江
16		天満宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町大字樋口
17		七星宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町大字長神田
18	甲柳原天満宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町大字甲柳原	

注) は図 2.2.7-8 の番号と対応する。

出典:平成 14 年度 文化行政要覧(佐賀県教育庁文化課資料)
市町村指定の文化財について(佐賀県教育庁文化課資料)



凡例

- : ダム堤体
- : 貯水予定区域
- : 社会的状況の調査範囲
- : 県界
- : 市町村界
- : 国指定天然記念物
- : 県指定天然記念物
- : 市町村天然記念物



1 : 200,000

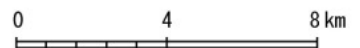
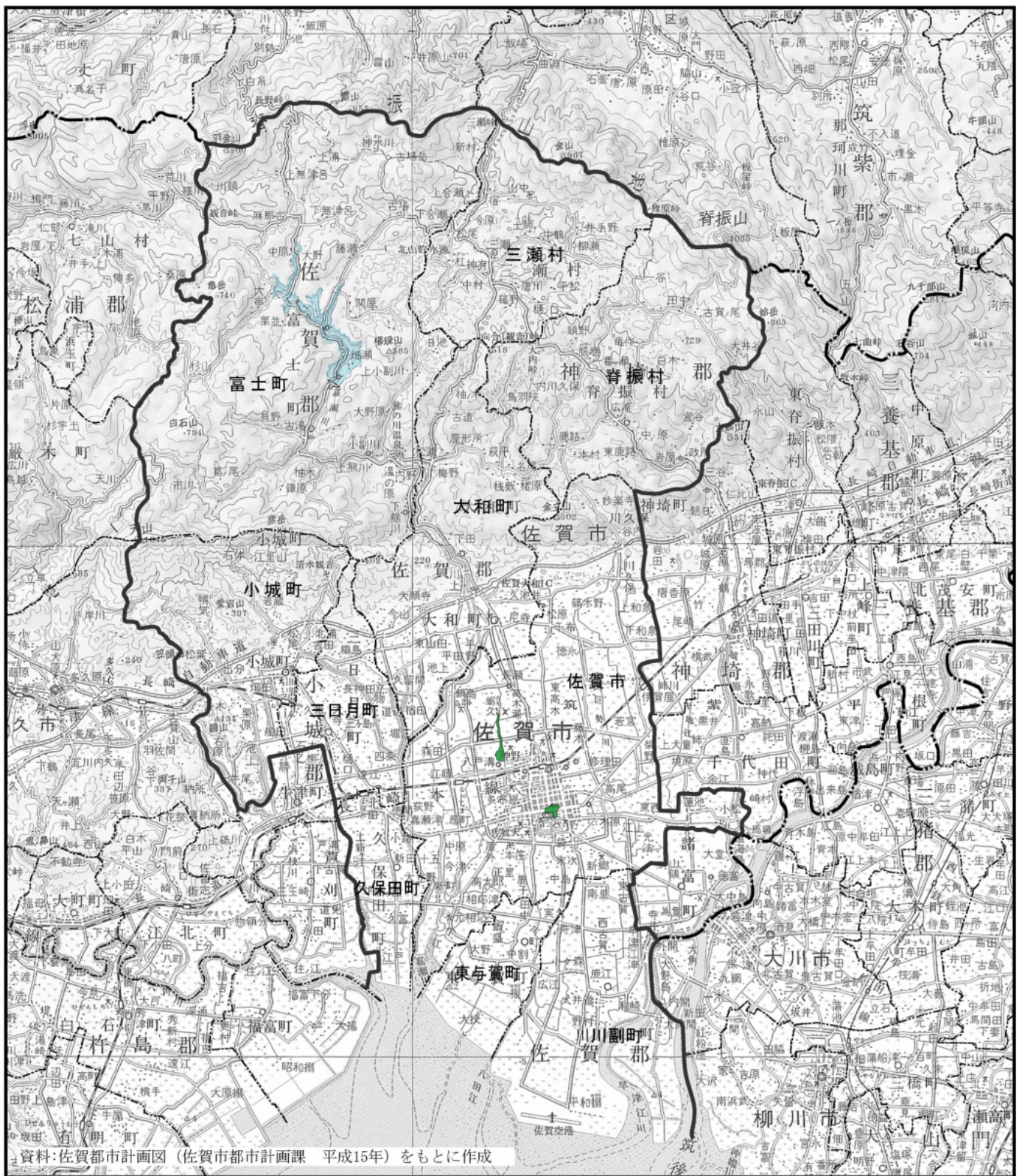








図2.2.7-8
天然記念物の指定状況

(19) 都市計画法に基づく風致地区の指定状況

社会的状況の調査範囲における都市計画法(昭和43年法律第100号)に基づく風致地区の指定状況は、図2.2.7-9に示すとおりであり、佐賀市に2カ所の風致地区が設定されている。対象事業実施区域及びその周辺の区域には、風致地区に指定されている区域はない。



凡例

-  : ダム堤体
-  : 貯水予定区域
-  : 社会的状況の調査範囲
-  : 県界
-  : 市町村界
-  : 風致地区



1:200,000

0 4 8 km

図2.2.7-9
都市計画法に基づく
風致地区の指定状況